

帯広第2地域連携懇談会を踏まえた合同庁舎整備の考え方

番号	対象	地域連携懇談会意見等	国（開発局、入居官署）の対応	設計への反映状況	備考
1	■外構 (植栽)	植栽については10年、20年後を見据えた考えで、既存樹木についても残せる木、残せない木の把握が必要。	長期的な視点での樹種選定に配慮する。	南東角のサクラのみ既存を残すこととしている。 今後、施工者による調査検証により最終的に存置を確定したい。	
2	■外構 (植栽)	新庁舎北側の日陰となる部分の植樹については、日陰でも育つ樹種の選定を。	選定樹木の適性について検討する。	庁舎北側へ高木は配置しない。 アジサイやタニウツギなどの低木を配植しています。	
3	■外構	周辺の市役所・NHK・中央公園・藤丸や広小路からの歩行者動線をどう考えるかが重要。歩道から玄関にまっすぐに入るだけではなく、交差点から斜めにアプローチを考えることも必要。敷地の高低差もあるので配慮が必要。	南東角、北西角に広場を設け交差点からのアプローチに配慮。敷地北側の高低差については、スロープにより段差解消する。	段差部へはスロープ等を配置し、主要動線にはヒーティングを設置しています。	
4	■合同庁舎	来庁者以外の新たな方々に来ていただくための仕掛けが必要。 (集客可能な施設の入居のほか、入居官署自らの企画等)	食堂や情報発信コーナーなどの施設配置を開放的な設えと合わせて検討する。 →1階パブリック部分のエントランスからアプローチしやすい位置に配置する	食堂は庁舎1階北側へ、情報発信コーナーを食堂前の廊下に配置し、エントランスホールよりアクセスしやすい位置としています。 オープン性に配慮し、大型の窓に面することにより、前面道路からの視認性に配慮しています。	
5	■合同庁舎	北海道の施設として地元木材の積極的な利用を検討して欲しい。	庁舎の内装仕上げに木材の積極的な活用を図る。 →共用部、窓口のある事務室、会議室、面接室、駐輪場、サインなど、来庁者ゾーンに重点的に活用	1階共用部を中心に木材仕上げを採用しています。 産地指定は出来ませんが、地域材種（カラマツ、トドマツ、カバ、タモ、ナラなど）を採用しています。	
6	■外構 (駐車場)	確定申告時期の2～3月は駐車場が大変混雑することとなる。歩車分離について配慮して欲しい。	繁忙期における広場の駐車場利用等により渋滞緩和に配慮した計画とする。 歩車分離による安全確保を図る。	南東広場を駐車場兼用とする。 歩道の配置及びボラード等により歩車分離に配慮しています。	
7	■外構 (駐車場)	市役所駐車場との相互利用について検討してはどうか。	相互利用の有効性、運用面の問題点について検討する。	関係者への働きかけを検討していきます。	
8	■合同庁舎	高齢者や障害者にも利用しやすいよう玄関周りに大きな庇を設けて欲しい。段差を極力作らないようにして欲しい。	車いす利用者用駐車場の屋根設置を検討する。段差解消に努める。 →歩行者通行部分には段差を作らない。	車いす利用者用駐車場及び庁舎入口前に庇を設置します。 動線上に段差は作らない計画としています。	

帯広第2地域連携懇談会を踏まえた合同庁舎整備の考え方

番号	対象	地域連携懇談会意見等	国（開発局、入居官署）の対応	設計への反映状況	備考	
9	第1回 地域連携 懇談会 ■合同庁舎	災害時の庁内アナウンスが聞こえない聴覚障害者に対して、アナウンスの内容が分かる表示等、聴覚障害者への災害対応について検討して欲しい。確定申告の混雑時には、健常者にも有効。	避難経路に点滅式誘導灯の設置を検討する。	1階ホールの風除室扉上（メイン、サブ）はフラッシュ付き誘導灯とし、聴覚障害者へ配慮します。		
10	第2回 地域連携 懇談会	■外構 (植栽)	選定樹種については、北海道在来種を極力主体にあげる。在来種以外については明確な選定の意図が必要。	在来種による整備を検討する。	ヤマモミジ、イタヤカエデなどといった樹種を中心に在来種を主に採用しています。その他に道内で実績のある、ギンヨウカエデを採用しています。	
11		■外構 (駐車場)	車いす利用者用駐車場（屋根付き）は2台確保してほしい。	2台分のスペースを玄関近くに確保する。通路を含め屋根の設置を検討する。 →屋根を設置する。	車いす利用者用駐車場を2台分設置し、屋根を設けています。	
12		■外構 (駐車場)	繁忙期の駐車場を兼ねる広場については、子供や老人の安全性に懸念がある。平常時は駐車場との区分を明確にし、安全に配慮してほしい。	駐車場との区分を明確にし、車止め等による安全確保を図る。	平常時はボラード（車止め）で区画します。 さらに歩道の仕上げ色を変えることで、視覚的にも認識できるものとして計画しています。	維持管理上の観点から車止めの設置を取り止めました。床仕上げを変えることに加え、門衛による駐車誘導によるソフト対応で駐車区分の明確化・安全確保可能と判断しました。
13		■外構	歩道の一体整備については景観として良いと考える。舗装材料については将来長期的に維持補修しやすい材料選定してほしい。	一体整備に向けた調整を行うとともに、維持補修に適した材料を選定する。	現状、歩道との一体整備についての合意は得られていません。敷地内は歩行空間としての設えや滑りづらさに配慮し、インターロッキング舗装を採用しています。歩道は既存のまま（アスファルト舗装及びインターロッキング）となっています。	
14		■外構 (駐車場)	駐車場の出入り口については、植栽等で見通しが妨げられないよう配慮してほしい。	植栽等については、通行の妨げとならないよう視界の確保に配慮したものをとする。	車両の出入口周辺の視認性に配慮した配植としています。	
15	■外構 (駐車場)	周囲に混雑等の発生しない駐車場規模、アプローチとしてほしい。	比較的交通量の少ない東側に来庁者用駐車場の出入り口を配置しています。また、臨時の駐車場として利用可能な広場を併設した計画としています。	南東広場を繁忙期の臨時駐車場とすること、敷地東側を車両出入口とすることで、路肩への駐車待機スペースを想定し、混雑時に配慮しています。		
16	■外構	電柱・電線の地中化について、景観の向上や歩道の快適性・安全面などから長期的な考えに入れても良いのではないか。	整備に向け申し入れを行います。	合同庁舎敷地内は全て地中化として計画しています。		

帯広第2地域連携懇談会を踏まえた合同庁舎整備の考え方

番号	対象	地域連携懇談会意見等	国（開発局、入居官署）の対応	設計への反映状況	備考
17	■外構 (植栽)	維持管理しやすさに配慮して樹種選定していただきたい。 外来種についても意図があれば採用は可能。アレルギーについても配慮した方が良い	樹木も特性等配慮し選定する。 現在ヤマモミジを中心に、ハシドイ、ギンカエデ（外来種、十勝実績有り）を採用予定。今後適性、アレルギーについて最終確認	採用樹種についてはNo.10によります。 アレルギーについて、影響が多いとされるシラカバ、ハンノキなどのカバノキ科の樹木は除外しています。	
18	■外構 (植栽)	広場などベンチ周辺の樹木は虫の付きにくいものを選定してほしい。 葉や樹液、虫の排泄物が落ちてくので配慮願いたい。	サクラ等のバラ科の樹木は採用しない。	ベンチ周辺や、駐車場の付近に虫の付きやすいサクラ等のバラ科の樹木は採用していません。 主にイタヤカエデ、ギンヨウカエデを採用しています。	
19	■外構 (駐車場)	駐車場と広場間など、歩車分離に配慮願いたい。	縁石等段差によるもの、車止め（ロード）等により歩車分離を明確にし、歩行者の安全に配慮する。	No.12によります。	
20	■外構 (バス停)	車庫裏のバス停位置について、広場側にあった方がバスの待ち時間など広場が利用出来るのではないか。	バス会社（十勝バス、拓殖バス）と協議を行い、完成後移設予定。 広場に面し、周辺にベンチを設置する。	南北のバス停とも、その付近にベンチを設置します。 南側のバス停について、広場側への移動は可能とのことで合意を得ています。	
21	■外構 (舗装)	仕上材（インターロッキング）について、不陸、メンテナンスのしやすさなどに配慮して選定していただきたい。	景観や滑りづらさといった安全性にも配慮し採用している。不陸については、歩道凍上抑制層の一般的な仕様厚さの倍として対応する	景観面、安全面（滑りづらさ等）、維持管理面に配慮し、インターロッキング舗装を採用しています。 不陸に対する舗装構成については、凍上抑制層深さを十分確保することとします。 実施に向け今後さらに検証を進めます。	帯広市内歩道舗装は今まで総厚30cmで行っていたが、状態が悪いため、近年総厚50cmで整備しており、その状況も良好。 当整備では、開発局土木部門仕様における、凍上の恐れのある地域で適用される凍上抑制層の増設（総厚60cm）を適用し、対応することとしている。
22	■合同庁舎	玄関前の庇について、大型車両の接触事故に配慮し、高さや張り出しに配慮していただきたい。	除雪車、大型バス、トラック等に配慮した寸法とする。	庇の高さについては、災害対策車両、除雪車、大型バス、トラックを考慮し、GL+4.45mとしています。	
23	■外構 (駐輪場)	各方向から来られる来庁者の安全を確保し、位置を検討していただきたい。また、デザインについても検討いただきたい。	庁舎利用者の動線に配慮し、エントランス（メイン、サブ）直近に配置する。 デザインについても木材の特性を生かし検討する。	駐輪場は、メイン、サブ両エントランス付近に配置しています。 また、木造の屋根を設置しています。	

帯広第2地域連携懇談会を踏まえた合同庁舎整備の考え方

番号	対象	地域連携懇談会意見等	国（開発局、入居官署）の対応	設計への反映状況	備考
24	第3回 地域連携 懇談会 ■合同庁舎 (サイン)	分かりやすいサインを検討いただきたい。（最近、トイレなど英語で表示され、男女の判別がつけづらい事例も見られる）	JIS認定されているピクトを使用する。また、色や大きさ、その他の手法でのサイン誘導を検討する。	ピクトはJISに基づいたものを採用します。 フォント、色、大きさについては、今後モックアップで検証していただくこととしています。 また、総合案内、トイレ、食堂、授乳室など、利用頻度の高い部分のサインのバックを木材としたり、色彩を変えるなど、一目で案内場所が分かる手法を採用しています。	
25	■外構 (誘導タイル)	誘導タイルについて、デザイン性よりも色がハッキリしているなど、機能性に配慮いただきたい。	営繕部標準の黄色を採用する。周辺仕上材との明度差に配慮する。	一般的に誘導タイルとして認識されている黄色を採用します。 弱視の方への配慮としまして、周囲の仕上げ色との輝度比を確保します。 実物をモックアップで確認していただく予定です。	
26	■外構	西3南9再開発事業が動き出す関係で、庁舎南東側の藤丸や広小路からの動線とのつながりがより強くなると思います。これらに配慮し、より歩きやすく、場合によっては溜まりやすく休めるような計画を検討してほしい。	当初より帯広駅からの人の流れを想定し、敷地南東側にオープンな広場を計画し、人の流れを呼び込むような計画としています。 広場のオープン性と敷地の一部を公開し、一体的に整備することで歩きやすさに配慮しています。	南東広場のオープン性・樹木の適正な間隔の確保、各所へのベンチの配置、敷地を一部公開し歩道との一体整備は図り、歩きやすく、溜まりやすく、休憩等の出来る空間としています。また維持管理及び歩行者への安全性を考慮し、樹木を配置します。	
27	■外構	電柱、電線等の地中化について、再開発事業の方でもやっていただいて、うまく統一感が出せればよい	合庁敷地内は、原則地中埋設化しています。	同左	
28	第4回 地域連携 懇談会 ■外構 (植栽)	かなり成長の早い樹種が一部選定されており、維持管理が大変だと思いますので、もう少し成長の遅い樹種を選定した方がよい。	維持管理性に配慮した樹種選定を行います。	列植をヤマモミジ、ハシドイ、ハウチワカエデとし、広場等のシンボルツリーをイタヤカエデ、中低木をツリバナ、ツツジ、キャラボク、アジサイ等とします。	
29	■外構 (植栽)	植栽のレイアウトについて、5～10年先を見据えたレイアウトを検討して下さい。	5～10年の成長した樹形を想定したレイアウトとします。	将来の成長を想定した配置計画とします。	
30	■外構 (植栽)	車庫南面について、植栽が未施工でもあり壁面ばかりが目立ってしまう。植栽を密に植えた方がよい。	車庫南側の植栽は現在未施工です。車庫壁面を分節化している目地や塗装パターンをベースとし、その前に低木、中木、高木をリズムよく配置し、気持ちよく歩ける歩行空間とします。	ハシドイ、ヤマモミジ、ツリバナ、ツツジをリズムよく配置し、ベースの壁面の圧迫感を軽減します。	

帯広第2地域連携懇談会を踏まえた合同庁舎整備の考え方

番号	対象	地域連携懇談会意見等	国（開発局、入居官署）の対応	設計への反映状況	備考
31	第4回 地域連携 懇談会	■外構 (舗装)	南東広場の舗装は、アスファルトとコンクリートとなっているが、子供や親子連れが遊びづらいのではないか。	南東広場については平常時は広場ですが、2～3月の確定申告時期は臨時駐車場として、災害発生時は災害対策車両の待機スペースを想定して計画しています。 よって、舗装については大型車両を想定したものとしています。 舗装仕様では対応出来ませんが、中央の樹木や舗装のデザインやベンチの設置で広場としての設えを作りたいと考えています。	同左
32		■外構 (舗装) (ヒーティング)	庁舎北側の日陰になる部分について、冬季間は凍って歩きづらくなることが想定されます、安全面について十分検討いただきたい	必要主要動線においてヒーティングを計画します。舗装については滑りづらい材質を選定します。 冬季間は通行止めのエリアを設定し、除雪等の維持管理の軽減や安全性に配慮します。	同左
33		■外構 (舗装) (排水)	車いす利用者用駐車場の舗装勾配について、勾配つけすぎると車いすを車から降ろしたときに転がってしまいうことあるため、配慮して検討してほしい。	必要最低限の路面勾配は確保しつつ、万が一車いすが転がっても支障の無い勾配方向を検討します。	同左
34		■合同庁舎 (受付)	受付カウンターについて、車いす利用者用の高さの低いカウンターも設置してほしい。	来庁者対応のカウンターは全て2段式（H95cm、75cm）とし、車いす利用者へ配慮します。	同左
35		■外構ほか (周辺との調和)	再開発事業において建設される施設において、合同庁舎とも色彩やデザインなど調和の取れたものになるとよいですね	今後、どの範囲が対応可能かなど協議していきます。	
36	第5回 地域連携 懇談会	■トイレ一般	祭りやイベントなどの際、閉庁時でも1階だけでも開放出来ないか	基本的に土日祝日などは閉庁となるため使うことは出来ません。	同左
37		■多機能トイレ	自動ドアスイッチ位置を利き手に配慮した位置としてほしい	各階で設定している利き手側に配慮した位置とします。	同左

帯広第2地域連携懇談会を踏まえた合同庁舎整備の考え方

番号	対象	地域連携懇談会意見等	国（開発局、入居官署）の対応	設計への反映状況	備考
38	■多機能トイレ	ベビーチェアの位置について、子供の視界に保護者が入る位置としてほしい	ベビーチェアと便器は、相互に視界に入る位置とします。	同左	
39	■多機能トイレ	トイレ内のレイアウトは、車いすの回転半径に配慮してほしい。	車いすの回転半径に配慮したレイアウトとします。	同左	
40	■多機能トイレ	可動跳ね上げ手すりは、ストップ付きとしてほしい。	ストップ付きに変更します。	同左	
41	■多機能トイレ	トイレ内の照明の点灯時間は10分以上としてほしい。	照明は人感センサーとし、点灯時間は10分以上に設定します。	同左	
42	■多機能トイレ	便器への正面からのアプローチスペースにもう少し余裕なスペースがほしい。	器具類を調整し、車いすがアプローチ出来るスペースを確保します。	同左	
43	■多機能トイレ	姿見はオストメイト用汚物流しのすぐ横付近に設置してほしい。	オストメイト用汚物流しの横に設置します。	同左	
44	■多機能トイレ	オストメイト用汚物流しに、パウチ等誤って落とさないよう、金網を設置してほしい。	ステンレス製金網を設置します。	同左	
45	■多機能トイレ	小さくてもよいので、開閉ペダル付蓋付き汚物入れを設置してほしい。	管理官署と協議します。	設置に向け検討中 管理官署にて汚物入れを設置対応済	

帯広第2地域連携懇談会を踏まえた合同庁舎整備の考え方

番号	対象	地域連携懇談会意見等	国（開発局、入居官署）の対応	設計への反映状況	備考
46	■案内サイン (内部サイン)	黒地のバックに白文字の表示は、目の不自由な方に配慮したデザインなのか。	下地を黒くすることにより、反射による眩しさが抑えられ、文字が見えやすいデザインと考えています。	同左	
47	■案内サイン (内部サイン)	案内板の「i」の意味が伝わらないのではないかと。漢字を主体に「案内」と表記するのはどうか。	「i」マークはJIS規格のピクトを採用していますが、より分かりやすい表示方法を検討します。	「i」マークのほか、「庁舎ご案内」の文字サイズを大きくし、ピクトの横に並べて設置し、分かりやすく表示します。	
48	■案内サイン (道路標識)	この建物に来るための道路標識は考えられているのでしょうか。	今回の整備には含まれていません。今後の検討事項と考えます。	同左	
49	第6回 地域連携 懇談会 ■案内サイン (外部サイン)	敷地西側には、来庁者用の駐車場が反対側（東側）にあることを周知する案内が必要ではないかと。	来庁者の利用に配慮したサイン計画を検討します。	来庁者用駐車場の入口を示す案内図を表示します。	
50	■案内サイン (外部サイン)	公用車用駐車場側に設置するサインに「P」の表示があるため、来庁者が駐車場と思い進入することが考えられる。	来庁者の利用に配慮したサイン計画を検討します。	「P」マークを取り止め、公用車用駐車場であることを文字で表示します。	
51	■案内サイン (外部サイン)	来庁者駐車場の出口に「P」と「OUT」が併記していることから、「P」が入口を表しているように見え、誤進入を誘発するため、「P」を付けない方が良いのではないかと。	駐車場出口であることを明確に表示します。	「P」マークを取り止め、進入禁止のピクトと「OUT」の文字で表示します。	
52	■案内について (その他)	建物案内のパンフレットのようなものを作成するのであれば、知的障害のある方に対する配慮として、ルビをつけてもらいたい。	庁舎の運用段階で考えていきたい。	同左	
53	第7回 地域連携 懇談会 ■案内サイン (内部サイン)	車イス用トイレのピクトサインに記載する英字表記は、共通的な表現がないか確認されたい。	共通的な表現があるか、他の事例等を参考に確認します。	決められた表現はなかったことから本施設では、「Right Handed Toilet」、「Left Handed Toilet」と表示します。	

帯広第2地域連携懇談会を踏まえた合同庁舎整備の考え方

番号	対象	地域連携懇談会意見等	国（開発局、入居官署）の対応	設計への反映状況	備考
54	■案内サイン (外部サイン)	案内サインの高さはどのように考えられているか。	道路反対側からでも見えやすい高さとして考えましたが再確認します。	近づいた時に文字の位置が高く感じることから、高さを2.2mに変更します。文字は0mからも視認可能なサイズを使用します。	
55	■案内サイン (内部サイン)	総合案内の部署名の文字が見えづらいので、もっと明るい色の方がよいのではないか。また、ピクトサインの英字が小さくて見づらい。	施工図の作成時に再度確認します。	部署名の文字色は修正します。また、文字が小さいベビーチェアの英字は削除、車イスの表示は略語を使用し、読み取れる大きさの文字を使用します。	
56	第7回 地域連携 懇談会 ■案内サイン (内部サイン)	フロア案内に表示する各官署の案内方法を検討されたい。	各官署の配置を確認のうえ、分かりやすい表示方法を検討します。	矢印と官署名により案内することとし、図面内には各官署の課室名を記載します。	
57	■案内サイン (外部サイン)	公用車駐車場サインは、一般者が誤って入らないための工夫が必要ではないか。	文字の大きさ、色等を再確認します。	公用車であることを明示すると共に、文字は0mから視認できる大きさを使用し、車道からも確認できる大きさとしします。	
58	■外構（植栽）	車庫南側の植栽は、枝が重ならないようにハシドイの中間にヤマモミジを配置するのが良いのではないか。	枝の成長も考慮し、樹木のレイアウトを見直します。	ヤマモミジの本数を減じて、ハシドイとヤマモミジを交互に配置します。	
59	第8回 地域連携 懇談会 ■外構（植栽）	低木（キャラボク）の植栽面積が大きくなったことに伴い、植栽計画全体の色味が濃くなっているため、ツツジはエゾムラサキツツジ以外の種類も配置した方が良いのではないか。	調達可能なツツジの種類や植栽全体の色味について検討します。	敷地南側（車庫裏）の植栽をエゾムラサキツツジからヨドガワツツジへ変更します。	敷地周辺の街路樹としてヨドガワツツジが植えられており、植栽の連続性に配慮しました。